

本資料は、2024年10月10日（現地時間）、インド・ムンバイで発表されたプレスリリースの日本語訳です。  
発表内容の詳細は原文をご覧ください。

URL: [www.tcs.com/investor-relations/financial-statements#year=2024-25&quarter=quarter2](http://www.tcs.com/investor-relations/financial-statements#year=2024-25&quarter=quarter2)

## TCS、堅調な業績で第2四半期を締めくくり、 多様なポートフォリオのレジリエンス(回復力)を示す

- 売上高: **76 億 7,000 万ドル**、前年同期比 **6.4%増**、恒常通貨ベースで **5.5%増**
- エネルギー・資源・公共 (**7.0%増**)、製造 (**5.3%増**) が成長を牽引
- 全ての新興市場が平均売上高を上回る: インド (**95.2%増**)、中東・アフリカ (**7.9%増**)、アジア太平洋 (**7.5%増**)、ラテンアメリカ (**6.8%増**)
- 営業利益率: **24.1%**、純利益率: **18.5%**
- 2025 年度前半期の従業員純増数: **1 万 1,000 人以上**

ムンバイ、2024年10月10日: ITサービス、コンサルティング、ビジネスソリューション企業であるタタコンサルタンシーサービズ(TCS)は、Ind AS(インド会計基準)およびIFRS(国際財務報告基準)に基づき、2024年9月30日を末日とする四半期の連結決算を発表しました。

### 2024年9月30日を末日とする四半期の業績ハイライト

- 売上高: **76 億 7,000 万ドル**、前年同期比 **6.4%増**、恒常通貨ベースで **5.5%増**
- 営業利益率: **24.1%**、前年同期比 **0.2%減**
- 純利益: **14 億 2,000 万ドル**、前年同期比 **3.8%増**、純利益率: **18.5%**
- フリーキャッシュフロー: **14 億ドル**、純利益の **100.2%**
- 総従業員数: **61 万 2,724 人**、従業員純増数: **5,726 人**
- ダイバーシティ&インクルージョン: 女性従業員比率は **35.5%**、国籍構成は **150 か国**
- IT サービス人材の離職率: **12.3% LTM**
- 1株当たり配当額: **10.00 ルピー**(基準日: 2024年10月18日、支払日: 2024年11月5日)

TCS CEO(最高経営責任者)兼 マネージングディレクターの**K.クリティヴァサン(K. Krithivasan)**は、当四半期の事業を振り返り、次のように述べています。

「ここ数四半期の慎重な傾向が今期も継続しています。不透明な地政学的状況の中で、TCSの主要事業である銀行・金融・保険は回復の兆しを見せました。また、新興市場も好調な業績を記録しました。TCSは引き続き、お客さまや従業員をはじめステークホルダーにより高い価値を提供できるよう注力していきます」

TCS CFO(最高財務責任者)の**サミール・セクサリア(Samir Seksaria)**は、次のように述べています。

「当四半期は、持続可能な成長を確実に実現するために、人材とインフラに戦略的投資を行いました。規律をもってこれを実行したことで、優れたキャッシュコンバージョンを達成しました。長期的なコスト構造は変わらず、業界をリードする収益性の高い成長を今後も実現し続けることができると確信しています」

TCS 人事部門グローバルヘッドの**ミ lind ラカド(Milind Lakkad)**は、次のように述べています。

「上半期に11,000人の新入社員を迎え入れ、研修生の受け入れも計画通り順調に進んでいます。また、26年度の新卒採用の募集も開始しました。TCSの豊富な人材基盤と、充実した学習プログラムにより、お客さまからの複雑な技術変革の依頼に応えられるケイパビリティを十分に備えています」

## 第2四半期の部門別ハイライト

### 産業分野別

産業分野	構成 (%)		Y-o-Y* CC**成長率 (%)
	Q2 FY24	Q2 FY25	
銀行・金融・保険	32.6	30.8	0.1
小売・消費者向けビジネス	15.9	15.1	0.1
ライフサイエンス&ヘルスケア	10.9	10.4	0.1
製造	8.6	8.6	5.3
テクノロジーサービス	8.6	8.0	- 1.9
通信&メディア	6.9	5.9	- 10.3
エネルギー・資源・公共	5.6	5.7	7.0
その他の産業分野	10.9	15.5	50.4
合計	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>5.5</b>

\*前年比  
\*\*恒常通貨ベース

### 市場別

地域	構成 (%)		Y-o-Y* CC**成長率 (%)
	Q2 FY24	Q2 FY25	
アメリカ			
北米	51.7	47.6	- 2.1
ラテンアメリカ	2.0	1.8	6.8
欧州			
英国	16.5	17.0	4.6
欧州大陸	14.9	14.6	1.8
アジア太平洋	7.8	8.0	7.5
インド	4.9	8.9	95.2
中東・アフリカ	2.2	2.1	7.9
合計	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>5.5</b>

\*前年比  
\*\*恒常通貨ベース

**サービス分野別:** お客さまは、顧客獲得の加速、ERP プラットフォームを含むデジタル・コアのモダナイゼーション、企業のオペラビリティ(可観測性)、規制コンプライアンス、セキュリティ体制の改善といった取り組みを優先しました。

裁量的支出は影響を受けたものの、お客さまは投資を継続し、AI・生成AI の活用により業績を向上させています。TCSは、AI に関する戦略立案、優先順位付け、導入を大規模に実行するための学際的でAI に特化したセンター オブ エクセレンス(CoE) を設立しました。

当四半期の成長を牽引したのは、サイバーセキュリティ、AI.Cloud部門、TCS Interactive(インタラクティブ)でした。

主要な契約締結に至ったテーマは、ベンダーの統合、マネージド・サービス、ユーザーエクスペリエンス(UX)の変革、テクノロジーの簡素化、レガシーシステムのモダナイゼーション、エンタープライズ・ネットワークの変革、自動化、生成AIに関する取り組みなどでした。

**AI.クラウド:** AI・生成AI の導入が増えており、その基盤となるテクノロジーは急速に成熟しています。現在、600 を超える AI・生成AIに関するプロジェクトが、本番環境または開発のさまざまな段階で順調に進行中です。お客さまは、個別のユースケースに取り組むのではなく、企業のバリュー チェーン全体に AI を組み入れることにますます注力しています。TCSでは、製品やソリューションのパッケージ全体でAI・生成AIの機能を有効に活用しています。AI Experience Zone (AIエクスペリエンスゾーン) や TCS AI WisdomNext™ (ウィズダムネクスト) などのプラットフォームを通じて、従業員全体のスキルセットを深め続けています。クラウド分野では、レガシーシステムのモダナイゼーション、データ・プラットフォームのモダナイゼーション、テクノロジー領域全体の簡素化が引き続き堅調に成長しています。

**サイバーセキュリティ:** お客さまはセキュリティ体制の改善に対する投資を引き続き増やしています。AI・生成AI の導入においてセキュリティ・ガードレールを構築するためのオフリングが堅調に推移しています。ガバナンス・リスク・コンプライアンス (GRC)、脆弱性管理、IDおよびアクセス管理、クラウド・セキュリティといった分野が主に成長を牽引しています。セキュリティ運用の変革、ランサムウェアに対するレジリエンスの強化、安全な生成AIも好調に推移しています。

**TCS インタラクティブ:** TCSのインタラクティブサービスは当四半期も引き続き成長しました。マーケティング担当者は、新規顧客の獲得と維持、製品の差別化に注力しています。これにより、データの活用による有効なセグメントの特定、カスタマーエクスペリエンス(CX)の改善、パーソナライズされたコンテンツの作成、ROI最大化に向けたアドテック(広告テクノロジー)やマーテック(マーケティングテクノロジー)の有効性、といった分野でビジネスチャンスが生まれています。TCSの多くの顧客企業で、CMO(最高マーケティング責任者)の担当領域がデジタル変革にまで拡大しています。消費は当四半期を通じてわずかに改善しており、マーケティング担当者はテクノロジー、データ、AIを活用してROIを向上させようとしています。

**IoT&デジタルエンジニアリング:** IoT&デジタルエンジニアリングは、未来の工場(スマート製造システム)、OT(オペレーショナルテクノロジー)のモダナイゼーション、インテリジェントな製品エンジニアリング、コネクテッドサービスおよびコネクテッドアセット、持続可能性が引き続き需要を牽引しました。当四半期中に成長を牽引した主要なサービスは、製造実行システム(MES)とインダストリー4.0、IoT プラットフォームサービス、デジタルエンジニアリングなどでした。IoT 主導のコネクテッドデバイスと製造プロセスの変革は導入が進んでおり、生成AI と組み合わせた産業用AI(デジタルツイン)の需要が高まっています。産業分野別では、テクノロジーソフトウェア&サービス、ライフサイエンス&ヘルスケア、エネルギー資源部門が成長を牽引しました。

**エンタープライズ ソリューション:** お客さまは、ERP のモダナイゼーションに引き続き投資しています。加えて、サプライチェーンの最適化、請求業務のモダナイゼーション、サステナビリティ、販売チャネルやサービスチャネルの再構築に関するソリューションを求めて、事業変革やCX 変革の取り組みでTCS と提携しています。生成AI は、さまざまな業界で好調な伸びを見せています。

TCSの変革へのアプローチ、文脈的知識\*、TCS Crystallus™ (クリスタラス)などの業界向け事前構成ソリューションが、お客さまの成長と変革への取り組みを加速させています。TCSは、パートナーと共同の市場進出 (Go-to Market) 戦略に引き続き投資しています。

\*contextual knowledge (コンテクスチュアルナレッジ) : お客さまが置かれたさまざまな状況において適用すべき最適な知見

**コグニティブビジネス オペレーション:** 当四半期、TCS Cognix™ (コグニクス) 主導のIT運用モデル変革が大きく寄与し、堅調なTCV (総契約額) を記録しました。ITインフラストラクチャやビジネスオペレーション全体で、複数の大きな契約を結びました。成長を牽引した主な分野は、ベンダー統合、従業員エクスペリエンスの向上、職場変革、ネットワークの再構築、アウトソーシングの導入などでした。ビジネスプロセスサービスでは、銀行、保険、カード業務、サプライチェーンのオペレーションが堅調に推移しました。

## 主な契約案件

- オーストラリア最大のランニングイベントである**シドニーマラソン (Sydney Marathon)** と 5 年間のパートナーシップを締結しました。TCS は専門的知見を活用し、マラソンにおける先進技術の活用、持続可能性、アクセシビリティ、慈善活動の効果を高めるとともに、オーストラリア全土でのランニングと健康の推進を継続的にサポートします。
- 民間航空宇宙、防衛・航空宇宙、サービス、電力システムを専門とする英国の多国籍企業 **ロールス・ロイス (Rolls-Royce)** とのパートナーシップを拡大し、持続可能な取り組みを推進し、水素燃料システム技術の研究に取り組んでいます。TCS は、航空機製造業界に関する深い専門知見を活用し、システム設計、コンポーネント設計、サプライチェーンサポート、プログラム管理など、同社のエンジニアリング活動をサポートします。
- 英国の小売企業 **アズダ (ASDA)** は最近、IT インフラストラクチャ・サービス環境の合理化による IT 運用の強化を目的に、TCS とパートナーシップを結びました。この提携では、ASDA の CX を向上させながら、デジタル運用を強化します。これにより、顧客満足度を全体的に高めるとともに、英国で第 2 位の小売企業になるという同社の目標達成をサポートします。
- ペルーの大手金融機関 **バンコ・デ・クレディト・デル・ペルー (BCP: Banco de Crédito del Perú)** から ITテクノロジー環境を変革するためのパートナーに選ばれました。このパートナーシップの一環として、TCSはAI.Cloud、モダナイゼーション、バンキングの各事業部門からデジタル製品と業界最先端の機能を提供し、BCPが戦略的ビジョンを達成し、完全にデジタル化されたCXを提供できるよう支援します。この度のパートナーシップの拡大により、TCSはBCPにとって価値ある成果を創出し続け、この地域で変革と革新のリーダーであり続けるという同社の戦略的成長目標をサポートします。
- 大学キャンパス内の店舗を運営する米国の大手企業 **フォレット・ハイアー・エデュケーション (Follett Higher Education)** より、IT インフラストラクチャサービスとサイバーセキュリティサービスを強化するためのパートナーに選ばれました。TCS は、TCS Cognix™ や TCS Cloud Exponence (クラウドエクスポネンス) などの商標プラットフォームとソリューションを導入し、米国やカナダの大学で同社が革新的なキャンパス体験や小売体験を提供できるよう、より優れた IT インフラストラクチャを構築し、同社をサポートします。
- 試験、検査、認証、トレーニングサービスを提供するアラブ首長国連合の大手企業 **TÜV SÜD Middle East** との戦略的パートナーシップを発表しました。この提携により、組織がカーボンフットプリントを管理・監視し、持続可能なビジネスを実行できるよう支援する独自のデジタルソリューション TCS Zero Carbon Platform (ゼロカーボンプラットフォーム) 上で利用可能な、ESG (環境・社会・ガバナンス) の取り組みに向けたカスタマイズされたソリューションを提供し、中東のお客さまの炭素管理と持続可能な事業展開を推進できるようサポートします。

- スウェーデン・ストックホルムならびにフィリピン・マニラで **TCS Pace™ Studio** (ペーススタジオ) を開設し、北欧およびアジア太平洋地域のお客さまにイノベーションエコシステムへのアクセスを提供します。この最先端のリーサーチ&イノベーション拠点により、お客さまは最新の技術を探求、大規模に展開し、DX の取り組みを加速させることができます。
- 欧州と米国の 17 か国で展開するファッションブランド **Primark** (プライマーク) から、テクノロジー運用を変革し、今後 5 年間の同社の世界的成長に向けた大規模な計画をサポートするパートナーに選ばれました。
- 英国の **Mansfield Building Society** と戦略的パートナーシップを締結し、同社の事業にデジタル変革をもたらします。TCS は、最先端のデジタルバンキングソリューションである **TCS BaNCS™ for Core Banking** と **TCS Digital Home Lending Solution** を導入し、会員と仲介業者のエクスペリエンスを向上させ、大規模な成長計画をサポートします。
- TCS は、オーストラリアの **カンタス航空 (Qantas)** から、航空エクスペリエンス、航空業務、商業航空技術、企業および顧客向けビジネスを含む同航空会社の技術領域のマネージドサービスプロバイダーに選ばれました。運用モデルの変革を推進してクラウド変革によるメリットを最大化し、カンタス航空の業務をプロダクト主導の運用モデルへと移行します。TCS は、18 年以上にわたって蓄積してきたカンタス航空のビジネス全体に関する深い文脈的知識を活用し、次世代型 IT 運用のレジリエンスを強化し、イノベーションのスピードを加速させます。この包括的な複数年にわたる契約により、カンタス航空は高度なオペレーションを実現します。TCS はまた、新興の AI 技術を活用して自動化を推進し、カンタス航空が大幅なコスト削減と効率化を実現できるよう支援します。
- **マクドナルド** とマスターフランチャイズ契約を結んでいるフィリピンの **George Yang-Led Golden Arches Development Corporation (GADC)** より、760 以上の店舗の IT 運用を標準化・デジタル化するためのパートナーに選ばれました。TCS は、SAP 主導のビジネスシステムの変革に関する深い業界の専門知見と文脈的知識を活用し、クラウドへの高度なアップグレード (RISE with SAP を利用した SAP S/4HANA のクラウドへの移行) を実施します。TCS は、GADC の IT インフラストラクチャをアップグレードし、より良いインサイトをもたらす、意思決定を向上させ、オペレーションを最適化します。
- ポーランドのワルシャワに新たに **デリバリーセンター** を立ち上げ、ポーランド国内における事業を拡大しました。TCS は、この設立により、1 年で従業員を 2 倍の 1,200 人以上に増強して当地域の事業を成長を図り、TCS の業界やテクノロジーに関するケイパビリティを示すことを目指しています。
- 英国最大の通信事業社 **オープンリーチ (OpenReach)** により、次世代ファイバーネットワークの全国的展開における、ビジネスオペレーション変革の戦略的パートナーに選ばれました。このマネージドサービス契約により、TCS は、OpenReach の E2E (エンドツーエンド) の FTTP (Fibre-to-the Premises) 回線の変革への道のりにおいて、信頼できるパートナーとして、OpenReach の旗艦的なブロードバンドビジネス (Ethernet) の顧客に優れたサービスを提供するとともに、ネットワーク構築のコストを最適化し、出張取り付け作業を最小限に抑え、生産サイクルを短縮します。TCS は、独自に蓄積した業界特有の文脈的知識と、生成 AI やクラウド主導のイノベーションに関する専門的知見を活用して、効率的なオペレーションを提供し、CX を向上させ、より優れたビジネス成果をもたらす、OpenReach の顧客により高速な接続環境を提供します。

## リーサーチ&イノベーション

2024 年 9 月 30 日現在、TCS は当期に出願した **160 件** を含め、**8,354 件** の特許を出願中で、当四半期に取得した **223 件** を含め、これまで **4,369 件** の権利を取得しています。

## 人材関連

2024年9月30日時点で、TCSの総従業員数は**61万2,724人**となりました。従業員は引き続き多様性に富み、出身国は**150カ国**に渡り、女性従業員比率は**35.5%**となりました。

従業員は、現在までに**2,610万時間**の学習時間を記録し、獲得した専門スキルは、**260万**に達しました。ITサービス部門の過去1年の離職率は**12.3% LTM**でした。

以上

### タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) について

タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) は、世界中の大手企業における変革の道のを50年以上に渡り支援している、ITサービス、コンサルティングおよびビジネスソリューション企業です。コンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用した、ビジネス、テクノロジー、エンジニアリングのサービスやソリューションを総合的に展開しています。これらをTCS独自のソフトウェア開発基準である「**ロケーションインディペンデント・アジャイル・デリバリーモデル (Location Independent Agile™ delivery model)**」を通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。

TCSは、世界最大規模の多国籍複合企業体である**タタ・グループ**の一員で、最高水準のトレーニングを受けた**61万2,000人**を超える人材を擁し、世界**55カ国**で事業を展開しています。2024年3月31日を末日とする会計年度の売上高は**290億米ドル**で、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、MSCIグローバル・サステナビリティ・インデックスや**FTS4Eグッド・エマージング・インデックス**をはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。TCSの詳細は、[www.tcs.com](http://www.tcs.com)をご覧ください。